



浜っこだより

今年の重点目標：『認め合い、つながり合う子どもの育成』

深い学びが生まれる授業をめざして

佐呂間町立浜佐呂間小学校長 中 垣 孝

現在の「学習指導要領」では、学びにおいて「主体的・対話的で深い学び」が求められています。これは、子どもたちが自ら主体的に考え、仲間と議論し合い、そして自己を振り返りながら学びを深めていくことが重要であるという考え方です。

日本では古くから、このような学びを大切にしてきました。たとえば、能の基本を築いた世阿弥は、亡き父・観阿弥の教えを基に書かれた能の理論書『風姿花伝』において、「能を演じる者は、“演じているもう一人の自分を見つめること”が大切だ」と述べています。この「もう一人の自分」を意識する力は、心理学でいうところの「メタ認知能力」と呼ばれます。このメタ認知能力こそが、主体的・対話的で深い学びを支える力だと言えるでしょう。たとえば、「自分にとって今、何が問題となっているかを推論する能力」「問題解決方法を予測し、具体的な解決策を立てる能力」「目標と結果を予測し、方策を続けるべきか、中止するべきかを柔軟に判断する能力」などが、メタ認知能力に含まれます。算数の授業などでは、どのように考えたのかを振り返り、それを自分なりに言葉でまとめることも、自分の思考を「もう一人の自分」が客観的に見つめることに繋がります。

本校では児童数が少ないため、「対話的な学び」に工夫が必要です。主体的に自分を見つめ、粘り強く考え、仲間や先生、時には自分自身と対話しながら深い学びを創り出す授業を目指して取り組んでいます。

先生も日々勉強です

11月6日に、学校教育指導があり、オホーツク教育局の指導主事（先生方の授業等に対するアドバイスをする先生）が来校され、浜佐呂間小の授業の進め方や指導方法等について、アドバイスをいただきました。11月20日には、町内の先生方に多数参加していただいて佐呂間町複式教育研究連盟の公開研究授業を行いました。本校では、「主体的に学び、考え方を伝え合い、深めることができる子どもの育成～効果的なICT機器の活用実践を目指して～」をテーマに日々授業の腕を磨いているところです。研究協議の中でたくさんのアドバイスをいただきましたので、これまでの授業や取組を再度振り返り、今後活かしていきます。



読書活動について

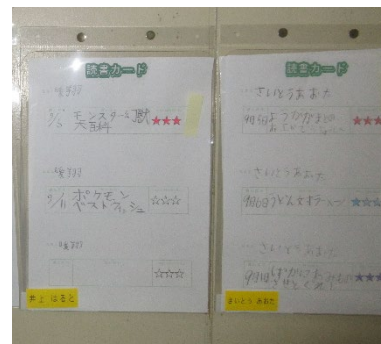
「学校評価アンケートの結果」でもお知らせしているとおり、例年、読書についての項目に課題がみられます。そこで、今年度は、子どもたちに少しでも読書に興味をもってもらおうと、さまざまな取り組みを行っています。



担任の先生による
おすすめの本の紹介です。



読書の木の取り組み
読んだ本を葉っぱに記入し
木の葉を増やしていきます。



図書カード
読んだ本の題名と本の
評価を記入し貯めていき
ます。



朝読書を毎週水曜日に行っています。

また、水曜日にはあおぞら号が来るので、積極的に利用しています。「浜佐呂間小学校の子どもたちは、よくあおぞら号を利用している。」と図書館の方も喜んでくれています。



図書館の、読書感想画展へ出品しました。



「みずほ教育福祉財団」から浜佐呂間小学校を選んでいただき、たくさん
の本を寄贈してもらいました。

先日、北海道教育委員会から「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」のリーフレットが配布されました。「読書」についての部分をできるところから始めてみてはいかがでしょうか。親子で一緒に、10分からでも読書をする時間を作ってみるのも有効かと思います。

3 読書習慣の定着を！

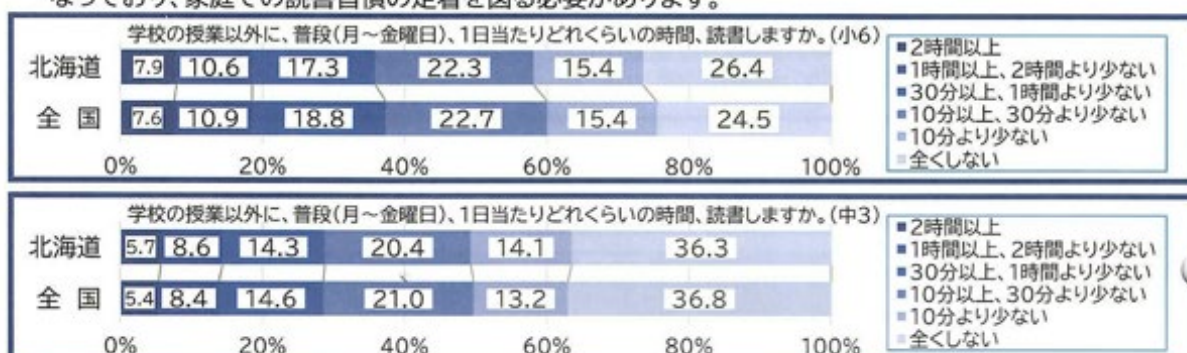


家や図書館で読書する時間＝まずは1日10分以上

- 子どもの読書習慣は、日常生活を通して形成されるものであることから、家庭での読書活動を習慣化することが大切です。
- 1日10分の読書をきっかけに読書習慣を身に付け、少しずつ増やしていくことが望めます。また、冊数に着目して、「週〇冊以上」、「月〇冊以上」という設定を行うことも効果的です。

本道の子どもたちの読書時間(令和5年度 全国学力・学習状況調査より)

- 1日当たり10分以上読書をしている子どもの割合が全国と比べて、小学6年生、中学3年生ともに低くなっており、家庭での読書習慣の定着を図る必要があります。



家庭での読書習慣を考えてみましょう！

うちどく 家読の すすめ

家庭での読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという取組で、決まったルールやスタイルはありません。



□ 読書で子どもが得られるもの

読書は、①新しい知識や情報が得られる ②豊かな言葉や表現を学べる ③感性が豊かになる ④想像力や空想力が養える ⑤感動が味わえる などのよさがあります。～全ての学びの基盤であり、子どもの健やかな成長に必要です～

□ 家族で読書する時間を

寝る前、夕食後、休みの日の朝食後など、時間や曜日を決め、テレビやスマートフォン等を使ったゲームなどから離れて、家族全員で読書をする時間を設けてみてはいかがでしょうか。

□ 家読の効能

家読により、①家族でのコミュニケーションが活発になる ②伝える力や新しいものを考える力を育むなど、子どもの成長につなげることができます。



ミニバレーへの参加、ありがとうございました

和気あいあいといい雰囲気の中行われ、親睦を深めることができました。



12月浜の予定

日	曜	行 事
1	日	
2	月	スクールカウンセラー来校
3	火	S日課
4	水	
5	木	S日課
6	金	複連交流学习（若小）
7	土	
8	日	
9	月	全校朝会（中学年）
10	火	S日課
11	水	S日課 あおぞら号（入替）職員会議
12	木	S日課
13	金	3校交流学习 音届けコンサート
14	土	
15	日	
16	月	大掃除週間（～20日）
17	火	S日課
18	水	
19	木	S日課
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	通常日課5時間授業 冬休み前全校集会
25	水	冬季休業日（～1月21日）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	学校閉庁日
30	月	学校閉庁日
31	火	学校閉庁日

タブレットを使って学んでいます

「主体的に学び、考え方を伝え合い、深め合うことのできる子ども」を育成するために、タブレットや電子黒板などのICT機器をどのように使うと効果的かについて先生方で学び合っています。

11月は、他の学校の先生方や教育委員会の方など、たくさんの方に授業を公開しました。子どもたちは、緊張しながらも、課題の解決に向けて進んで学習に取り組んでいました。

また、Canvaというアプリケーションを活用し、高学年が「佐呂間町の魅力」や「自己紹介」「卒業までの日めくりカレンダー」について全校朝会で発表しました。高学年が低学年にCanvaを使った名刺作りを教える場面、中学年が使い方を学ぶ場面もありました。全校で積極的にICTを活用しています。



税の標語コンクール

5年生の井上凌翔さんの作品が、北見間税会優秀賞に選ばれ、全校朝会でも表彰されました。おめでとうございます。

「税金は 未来にむけて ささえあい」



北海道心の教育推進会議では、子どもたちに生命を大切にする心、他人を思いやる心、美しいものに感動する心などの「豊かな心」を育むことの大切さを、家庭や学校、地域や企業、団体などへ普及、啓発する活動を展開しており11月を取組強調月間としております。

浜佐呂間小学校は、この趣旨に賛同し、北海道心の教育推進キャンペーンを応援しています。